

論文審査の要旨

報告番号	修 第 1281 号	氏 名	太田 千春
論文審査担当者	主 査 上田 邦枝 副 査 富田 真佐子 副 査 三村 洋美		
(論文審査の要旨)			
<p>本論文の要旨は以下のごとくである。</p> <p>「本研究は、変形性膝関節症における高齢者の日常生活や生活の質（QOL）の低下を誘発する関節のこわばりや痛み の治療に、グルコサミン（GH）での症状緩和や病態の推定予防効果が示されているものの、その機序を明らかに することを目的としてなされたものである。病態生化学的に膝OAの発症・増悪化機序を検討すると、罹患関節内で 産生されるフリーラジカルが重要な役割を果たしていることが示されている。今回、膝OA患者由来の膝関節の滑膜 細胞（HF L S - O A）をGH存在下、膝OAのバイオマーカーと考えられるペリオスチンで刺激し、当該細胞のフ リーラジカル産生に及ぼすGHの効果を、一酸化炭素（NO）産生を指標に検討した。細胞培養系に 1.0 mg/mlのGH を添加してもNO産生には全く抑制効果が認められなかったが、1.5 mg/ml以上のGH添加では、NO産生が有意に抑 制した。さらに、ペリオスチン刺激による iNOSmRNA 発現の増強をも有意に抑制した。本研究より、GHの傾向摂 取によって間接滑膜細胞から炎症性刺激によるNO産生が抑制され、その結果、NOによる関節組織の破壊が阻止さ れ、膝OAの進行や症状緩和が誘導される可能性があることが示唆された。」</p> <p>本論文の内容は、変形性膝関節症における高齢者の日常生活における疼痛を軽減させ、今後の生活の質（QOL）を 高めていく上での示唆に富む、大変貴重で今後の発展が期待できる内容である。よって、学術的価値は非常に高いも のと判断でき、修士論文に値するものと判断した。</p>			